

無情物主語を取る‘-려고 하다’の特徴 -事態変化の用法を中心に-

平 香織
神田外語大学

1.はじめに

朝鮮語には-ㄴ 것이다, -ㄴ 것이다, -ㄴ 것 같다, -ㄴ까 보다, -려고 하다는ような分析的形式が多く存在し,それらの形式の中には取り得る主語によって表される意味が異なるものがある。本研究で取り上げる-려고 하다는有情物主語を取る場合と無情物主語を取る場合で表される意味が異なることが指摘されているが,無情物主語を取る場合の-려고 하다는意味・用法についてはまだ明らかになっていない点が多い。

本研究ではコーパス,インターネット検索サイトから抽出した用例を基に無情物主語を取る-려고 하다는使用される状況を分類してその特徴を探り,開始局面を表すとされる-기 시작하다との比較を通して,-려고 하다는表す局面について考察する。

2. 先行研究

連結語尾-려고は「意図・目的」を表すとされ,先行節と後行節の主語が一致していなければならないが,他の時制関連要素が結合できないことが指摘されている(1a,1b)。連結語尾であるため,(1c)のように文中に生起するのが一般的であるが,(1d)のように文末に生起することも可能である。また,(1e)のように-려고 하다는形でも「意図」が表される(例文の下線と日本語訳は筆者による)。

(1) a. *나는 영화를 만나려고 그는 거기로 나갔다.

「*わたしはヨンヒに会おうと彼はそこに出かけた。」

(고영근·구분관 2008:494)

b. 나는 학교에 {*갔으려고 / *가겠으려고} 버스를 탔다.

(고영근·구분관 2008:495)

c. 사장님이 직접 그 일을 해결하려고 오셨다.(국립국어원 2005:668)

「社長が直接その仕事を解決しようとお越しになった。」

d. 영수: 왜 그렇게 열심히 일해요?

「ヨンス: なぜそんなに一生懸命仕事をするんですか。」

철수: 응, 올해 안에 내 집을 사려고. (국립국어원 2005:668)

「チョルス: うん, 今年中に自分の家を買おうと(思っ)て。」

- e. 이제 마음먹고 열심히 살아 보려고 합니다. (김서형 2012:259)
「これからは心を決めて一生懸命生きてみようと思います。」

「意図・目的」を表す連結語尾-려고に関する既存の研究には、類似した機能を持つ-고자と比較した손세모들(1997)や目的を表す-러と比較した한송화(2007)があり, (1d)のように文末に生起する-려고の特徴に関する考察には, 국립국어원(2005), 양지현(2013), 타이라(2015)がある。(1e)のように-려고 하다는形で表される「意図」については국립국어원(2005)や양지현(2013)以外に, 韓国語教育の観点から考察した김서형(2012)がある。

(1c)-(1e)の例は, 有情物主語を取り「意図・目的」を表す例であるが, -려고, -려고 하다는無情物主語を取ることで「意図・目的」とは異なる意味を表すことが指摘されている。

- (2) a. 회의가 벌써 끝나려고 한다. (국립국어원 2005:671)
「會議がもう終わろうとしている。」
b. 서두르세요. 기차가 떠나려고 해요. (국립국어원 2005:671)
「急いでください。列車が出発しようとしています。」
c. 아이가 넘어지려고 해요. (국립국어원 2005:668)
「子供が転ぼうとしています。」
d. 비가 오려고 먹구름이 낀다. (양지현 2013:62)
「雨が降ろうと雲が立ち込める。」
e. 꽃이 피려고 하네. (양지현 2013:68)
「花が咲こうとしている。」

無情物主語を取る例について, 국립국어원(2005)では-려고 하다는形を取り, 「ある出来事が起ころうとすることやある状況が始まろうとすること」, 「まさに起ころうとする動きや状態の変化」を表すとした。また, 同研究では有情物主語を取った(2c)のような状況では, 「子供が意図的に転ぼうとする」という解釈と, 「子供が転びそうになる」という二つの解釈があり得るが, 基本的には有情物主語を取る場合には「意図・目的」を表し, 無情物主語を取る場合には「まさに起ころうとすること」を表すとしている。それに対し, -러 하다, -려고(요), -려고 하다는違いについて考察した양지현(2013)は, -려고 하다는だけでなく(2d)のような連結語尾-려고の例も示しながら, 無情物主語を取ったそれらの意味を「話し手の推測」を表すとした。

以上のように, これまでの-려고, -려고 하다는に関する研究では「意図・目的」の意味には注目されてきたが, 無情物主語を取る-려고 하다는に関する言及は少なく, 表す意味についても統一した見解が得られていない。

本研究では、あまり関心が向けられてこなかった無情物主語を取る-려고 하다を取り上げ、この形式が表す意味・用法を明らかにし、どのような事態を表すのか、また事態のどの局面を表すのかを考察する。

3. 考察

3.1. 無情物主語を取る-려고 하다と他の形式との共起関係

本節では、取り得る用言の種類、否定形式との共起、疑問文で現れ得るかを観察しながら、無情物主語を取る-려고 하다に見られる特徴を述べる。

取り得る用言の種類から見ていこう。

- (3) a. 그리고 대중은 그런 잡음을 내는 존재가 아닐는지. 기존의 의미론적 의미로는 이해되지 않는 그런 잡음. 바로 그 기존의 의미론의 항상 배제하려고 했던 바로 그 잡음. (21 세종)¹⁾

「そして大衆はそんな雑音を出す存在ではないのか。既存の意味論的意味としては理解されないそんな雑音。まさにその既存の意味論がいつも排除しようとしていたまさにその雑音。」

- b. 다 읽고 나서는 이 소설이 과연 무얼 말하려고 했는가를 생각하지요. (21 세종)

「すべて読み終えるとこの小説が果たして何を言おうとしたのかを考えます。」

(3)は他動詞を取った例である。主語に注目してみると、(3a)の「意味論」は「意味論を研究する人」、(3b)の「小説」は「小説を書く人」と解釈され、「意味論を研究する人が排除しようとする雑音」、「小説を書いた人が言おうとしたこと」という意味になる。타이라(2015)では、-려고 하다가無情物主語を取る場合であっても、その主語に人間の関与が認められると解釈される場合には、意図のニュアンスを帯びるとした。

次は自動詞の例である。

- (4) a. 막 노래가 시작되려고 할 때 얼굴로 열이 치솟아 도저히 표정 관리를 할 자신이 없어진 나는 참지 못하고 일어섰다. (21 세종)

「まさに歌が始まろうとする時、顔に熱が上がり、到底表情を保ってられる自信がなくなった私は、こらえきれず立ち上がった。」

- b. 주변이 컴컴해지려고 할 때쯤 그 집의 서쪽으로부터 오토바이 한 대가 달려왔다. (21 세종)

「辺りが暗くなろうとする頃、その家の西側からオートバイ1台が駆けつけた。」

(4a)は歌がまさに始まろうとする状況を、(4b)は周辺が暗くなろうとする状況の変化を-려고 하다で表している。まさに起ころうとする状況や状況の変化を表す-려고 하다は他動詞と共起しにくい。

次の(5)は「意図」や「状況の変化,まさに起ころうとする状況」を表すとは言いにくい例である。

(5) a. 중력은 끌어당기려고 하는 힘이구요..... 유리의 파편이.....

「重力は引っ張ろうとする力でして..... ガラスの破片が.....」

(<http://cafe.naver.com/bestani/1696126>)

b. 간과 연결된 문맥에 울혈이 생기면 복부정맥을 통해 순환되려고 하기 때문에 정맥이 붓게 된다. (21 세종)

「肝臓とつながった門脈にうっ血が生じると腹部静脈を通じて循環しようとするために静脈が腫れる。」

(5a)は他動詞の例で「重力とは(物体を)引っ張ろうとする力」を表し、(5b)は自動詞の例で「循環しようとする(血液の流れ)」を表している。(5a)の重力の説明は、何が物体を引っ張るのかを表すことができず、主語を示すことができない。一方、(5b)は主語が文中に現れてはいないが、文脈から血液が主語となることが分かる。(5a),(5b)で使用されている-려고 하다は、これまで指摘されてきた「意図」や「状況の変化,まさに起ころうとすること」の意味では捉えにくく、恒常的な事態を表す例と言える。

-려고 하다は動詞との共起のほか、있다と共起する例も見られた。

(6) a. 첫째는 몸 안에서 열을 발생시키는 것이고, 둘째는 주위로부터 열을 받아들이며, 그리고 셋째는 주위에 열을 방출하는 방법이다. 우리 몸은 이러한 방법을 적절히 조합해 가능하면 쾌적한 상태에 있으려고 한다. (물결 21)

「一つ目は体内から熱を発生させることであり、二つ目は周囲から熱を受け入れ、そして三つ目は周囲に熱を放出する方法である。我々の身体はこのような方法を適切に組み合わせ、可能であれば快適な状態にいようとする。」

b. 관성이란 움직이는 물체가 외부 힘이 가해지지 않는 한 계속 움직이려 하고, 정지해 있는 물체는 계속 정지해 있으려고 하는 힘. (물결 21)

「慣性とは動く物体が外部の力が加わらない限りずっと動こうとし、止まっている物体はずっと止まっていようとする力。」

(6a)は熱の発生や発散によって、身体が快適な状態にいようとすることを

表し、(6b)は外部から力が加わらない限り、物体が止まった状態にしようとすることを表している。これらは、力や作用によって主語がその状態にあることを示している例であり、ここでの있다は動詞的な意味で使用されている。(6)も(5)と同じように、恒常的な事態を表す例と言えよう。ある状態にしようすることを表す動詞的な意味を表す있다は-려고 하다とともに現れるが、単に存在を意味する있다は-려고 하다とともに現れることはない。

(7) a. *책장에 책이 있으려고 한다.

「*本棚に本があろうとする。」

b. *책이 책상 위에 놓여 있으려고 한다.

「*本が机の上に置かれていようとする。」

次は連結語尾-려고の例ではあるが、形容詞と共起した例である。

(8)이 글이 원래 만화에 얼마나 충실하려고 노력했는지를 쉽게 엿볼 수 있다. (21 세종)

「.....この文がもともとの漫画にどれだけ忠実であろうと努力したかをたやすく窺い知ることができる。」

(8)の충실하다は形容詞であるが、命令形충실해라, 勸誘形충실하자の形が可能であることから、意志動詞的な用法が見られる。さらに、主語の글は文脈から「文を書く人」を意味しており、ここでの-려고は意図を表すものと言える。

では、形容詞としての用法のみを持つ形容詞と-려고 하다は共起できるのだろうか。

(9) a. *김치가 매우려고 한다.

b. *방이 조용하려고 한다.

(10) 시어머니 매일 전화 와서 분유 먹여라 어제라 말씀하시는 것도 슬슬 속상하려고 하고..... (<http://cafe.naver.com/imsanbu/14330398>)

「義理の母から毎日電話がきて、粉ミルクを飲ませろ、どうしろとおっしゃることにも、そろそろいらつこうとして.....」

-려고 하다は(9)のように属性を表す形容詞との共起は不可能であるが、感情を表す形容詞の場合には(10)のように共起可能な場合がある²⁾。(10)の속상하다³⁾は속이 상하다という分離用言であり、-려고 하다によっていら

いらし始めようとする話し手の心的状態の変化を表している。

次の例は없다가使用された例であるが、この使用については韓国語母語話者の間で意見が分かれるようである。

- (11) a. 힘이 없으려고 하는지 다리도 아프고 유산소는 40 분만 하는
걸로! (<http://blog.naver.com/greys5656/220624717702>)
「力がなくなろうとしているのか足も痛いし、有酸素(運動)は40分
だけすることに!」
- b. 슬슬 재미 없으려고 하네. (<http://cafe.naver.com/tmlxn/198027>)
「そろそろ面白みがなくなろうとしている。」

(11)はそれぞれ「力がなくなろうとして」、「面白みがなくなろうとして」という意味で使用されているが、ここでの없다는없어지다とするところであるという意見も聞かれた。なお、今回のデータでは、無情物主語を取る-려고 하다가指定詞と共起した例は見られなかった。

ここまでをまとめると-려고 하다는、動詞や動詞的な意味での있다、心的状態の変化を表すことのできる感情形容詞と共起する。一方で、属性形容詞とは共起せず、없다の使用で意見が分かれ、指定詞と共起した例が抽出されなかったことから、無情物主語を取る-려고 하다는動的な事態を表すと言うことができる。

では、動的な事態とは具体的にどのような事態なのか、-려고 하다가使用できない例も併せて観察してみよう。

- (12) a. (電気がつく様子を見て) ?불이 켜지려고 한다.
「電気がつこうとしている。」
- b. 초록 불이 깜박이고, 빨간불이 켜지려고 할 때.
「青いランプが点滅し、赤いランプがつこうとする時。」
- (<http://cafe.naver.com/bjcrocodile/1123906>)

- (13) a. ?한국에서 보낸 짐이 도착하려고 한다.
「韓国から送った荷物が到着しようとする。」
- b. (列車に乗っている人が、プラットホームが見えたところで)
열차가 도착하려고 한다.
「列車が到着しようとしている。」

- (14) a. (列車の中で) ?슬슬 산이 보이려고 한다.
「そろそろ山が見えようとしている。」
- b. (列車の中で、山の一部が見え隠れしている状況で)

산이 보이려고 한다.

「山が見えようとしている。」

- c. 어느새 귀여운 아가 같던 코비가 사춘기를 지나 청년의 모습이 보이려고 하네요. (<http://cafe.naver.com/dognewss/8042>)⁴⁾

「いつの間にか, かわいい子供のようにだったコビが思春期を過ぎて青年の姿が見えようとしています。」

(12)は「つく, 点灯する」, (13)は「到着する」という動詞を使用した例である。(12a)は電気がつくまでの様子を見ながら発話する状況を想定したものであり, (13a)は荷物が到着する時期が近づいていることを述べたものであるが, いずれも-려고 하다는使用が不自然である。それに対し-려고 하다는使用が可能な(12b)は, 信号機の色が青から赤へ変わる状況を述べたものであり, (13b)は走っている列車が駅に近づき, プラットホームが見え始めた状況での発話を想定したものである。各(a),(b)の違いを考えると, (12a)の「電気がつく」, (13a)の「荷物が到着する」は, それぞれの動詞で表される事態が点的に起こる。一方, (12b)は青いランプが点滅している状態から赤いランプが点灯する状態への移行を表し, (13b)は走っている列車が駅に近づいているという動きを表している。これらは, 今ある事態から次の事態に向かって変わりつつある状況を表しており, 事態の起こり方が線的であると言える。また, 自発的な動詞を使った(14)でも, 山が全く見えない状態から見える状態になるというように事態が点的に表される(14a)では-려고 하다는使用が不自然であるが, (14b)のように山の一部分が見え隠れしている状況から山がすべて見える状態へ移りゆくことを表す場合や(14c)のように子供から青年への変化という線的な捉え方の場合には-려고 하다가可能である。つまり, 無情物主語を取る-려고 하다는, 動的な事態, それも今ある事態から新しい事態への動きが線的に捉えられる場合に使用されると言える。

次に否定形との共起について見ていく。양지현(2013)は-려 하다는統語的特性として無情名詞を取った場合には否定表現が使用できないことをあげ, この特性は-려고 하다는においても同様であるとしている。

(15) a. *비가 {안 오려 / 오지 않으려} 한다.

b. *비가 {못 오려 / 오지 못하려} 한다. (양지현 2013:58)

しかし, 実際には無情物主語を取った場合でも否定形が共起する例は見られる。

(16) a. 바야흐로 천고마비의 계절이라는데, 난 지퍼 마비의 계절이 다

가온 듯, 갑자기 죽죽 잘만 올라가던 바지 지퍼가 갑자기 안 올라가려고 해. 이게 그 말로만 듣던 가을 비만의 시작이런가?

(물결 21)

「今まさに、天高馬肥の季節と言うが、わたしはジッパー麻痺の季節が近づいてきたように、突然、ずっとあがっていたズボンのジッパーが突然あがろうとしない。これがあの話に聞いていた秋の肥満の始まりなのか。」

b.병석이의 손이 무슨 괴기 영화에서처럼 내 목덜미를 붙잡고 놓아주지 않는 듯한 불쾌감이 좀처럼 나에게서 떠나려고 하지를 않아서. (21 세종)

「.....ピョンソクの手が何か怪奇映画でのようにわたしの首筋をつかんで離さないような不快感がなかなかわたしから離れようとしてなくて.」

c. 막걸리가 차가워서 그런지 자연적으로는 녹으려고 안 하네요. 「マッコリが冷たくてそうなのか(混ぜた粉が)自然には溶けようと しません.」 (<http://blog.daum.net/hachiil/8308110>)

(16a)は否定形が前接した例, (16b),(16c)は後接した例であり⁵⁾, 主語は「ジッパー」, 「不快感」, 「粉」という無情物である。なぜ, 양지현(2013)があげた(15)では否定形が共起できず, (16)では否定形が共起できるのか。(16a)では,話し手はジッパーをあげる行為が可能であり, (16b)では不快感を取り除くために話し手が何らかの行動を起こすことが可能である。(16c)も話し手は粉を溶かすためにかき混ぜるなどの行動をとることが可能である。そして, その行為によって, あがらなかったジッパーがあがったり, 離れなかった不快感が去ったり, 溶けなかった粉が溶けたりするという状態の変化を引き起こす可能性がある。一方, (15)は雨を降らそうと話し手が何らかの行動を起こしたとしても, 実際に雨を降らせることは難しい。つまり, -려고 하다と否定形が共起できるかどうかは,話し手の意図的な行為によって, 事態を変化させられるかどうかという点にある。さらに, 無情物主語を取る-려고 하다の否定文は, 主語がある状態になることが望ましいと話し手は考えているが, そうならないことを示す際に用いられている。あがってほしいジッパーがあがらない, 離れてほしい不快感が離れない, 溶けてほしい粉が溶けないことを表している。ここでの望ましい状態とは, 話し手の意図的な行為が及ぶ範囲に限られるため, いくら雨が降ることが望ましいと考えていても(15)のような例では-려고 하다が使用できない。このように-려고 하다の否定文は, 話し手が望ましいと考えた状態に主語がなろうとしないことを表すため, 望ましいと思わないことについて使用すると(17)のように不自然である。

- (17) a. ?머리카락이 {안 빠지려고 할 때 / 빠지려고 안 할 때}.
 「髪の毛が抜けようとしないう時。」
 b. ?핸드폰이 {고장나지 않으려고 해 / 고장나려고 하지 않아}.
 「携帯電話が壊れようとしないう。」

共起制限の最後に疑問文について見ていく。無情物主語を取った-려고 하다는疑問文は、次の2例しか見られなかった⁶⁾。

- (18) a. 그런데 왜 자꾸 눈물이 나오려고 하지? (21 세종)
 「だけど、どうしてしきりに涙が出ようとするんだろう。」
 b. 허허, 이걸 보니 왜 이리 눈물이 나려고 하지? (물결 21)
 「ふう、これを見るとどうしてこんなふうに涙が出ようとするんだろう。」

(18)は疑問の形を取っているが、実際には自問である。無情物主語を取る-려고 하다는疑問文の例が少ない理由については、意味的特徴を見ながら次節で考える。

3.2. 無情物主語を取る-려고 하다가使用される状況と表される局面

本節では、無情物主語を取る-려고 하다는意味的な特徴を考察するために、まずどのような状況で-려고 하다가使用されているかを観察し⁷⁾、次に事態の開始局面を表すとされる-기 시작하다との比較を通して、-려고 하다가事態のどの局面を表す形式なのかを見ていく。

3.2.1. 無情物主語を取る-려고 하다가使用される状況

実際の例を通して、-려고 하다가どのような状況で使用される形式なのかを考察する。抽象的な現象の例から見ていこう。

- (19) a. 이처럼 어수선하고 미완의 상태에서 1990년의 제야의 종이 머지않아 울리려고 하고 있네요. (21 세종)
 「このように落ち着かない未完の状態で 1990年の除夜の鐘がもうすぐ鳴ろうとしています。」
 b. 이제야 이승우가 욕망의 드라마인 사랑의 문제를 위협스럽게 하는 이유가 드러나려고 한다. (21 세종)
 「ようやくイスンウが欲望のドラマである愛の問題を危うくする理由が明らかになるうとする。」

(19)の主語である「除夜の鐘」,「理由」は抽象物である。-려고 하다によって, 除夜の鐘が鳴ろうとすること, 理由が明らかになることが述べられ, そうなる時が迫っていることを表している。時が迫っているといっても事態がすぐに起こらなければならないわけではなく, 話し手が事態をそのように捉えていることを表している。除夜の鐘が鳴ろうとすることを述べることで, 年が変わる時が迫っていることを表し, 理由が明らかになることを述べることで, 隠されていたものが表に出る時が迫っていることを表す。状況の変化が迫っているという意味を表すことから, (20)のような比喩的な表現にも使用される。

(20) a. 오랜 싸움의 최후의 막이 이제 막 내려지려고 합니다. 정말 역사적으로 숨 막히는 순간입니다. (21 세종)

「長い闘いの最後の幕がまさに下ろされようとしています。本当に歴史的な息の詰まる瞬間です。」

b. 역사에 작은 종지부 하나가 지금 막 찍히려고 한다. (21 세종)

「歴史に小さな終止符一つが今まさに刻まれようとする。」

主語の「最後の幕」や「小さな終止符一つ」は実在するものではない。最後の幕が下ろされる, 終止符一つが刻まれるとは, 何かが終わろうとすることを表す比喩的な表現である。このように, 抽象的な現象に使用される-려고 하다は「主語が~しようとする」ことを述べることで, 状況が変化する時が迫っていることを説明していると言える。

また 3.1. で述べたように, -려고 하다は線的に捉えた事態について使用されるため, 時間を限定して事態を点的に捉えてしまうと-려고 하다の使用が不自然になる。

(21) a. ?5 분 뒤에 제야의 종이 울리려고 한다.

「5分後に除夜の鐘が鳴ろうとしている。」

b. ?일주일 후에 이유가 드러나려고 한다.

「1週間後に理由が明らかになるようとしている。」

次は主語が具体物の例である。

(22) a. 요즘 고장 나려고 하는지 잠시만 사용해도 먼지가 짝 찻다는

불이 자주 들어와요. (<http://blog.naver.com/luxury0409/220125608784>)

「最近, 壊れようとしているのか, 少し使ってもゴミがいっぱいになったというランプがよくつきます。」

b. 그리고 줄기에 두 번째 잎이 나오려고 합니다. (21 세종)

「そして茎に2番目の葉っぱが出ようとしています。」

- c. 꽃 핀 걸 사 왔었는데 다 떨어지고 6개월 만에 다시 꽃 피려고 해요. (<http://cafe.naver.com/mjann/985444>)

「花が咲いたのを買ってきたのですが、すべて落ちて6か月ぶりにまた花が咲こうとしています。」

(22)は、話し手がある兆しによって、ことが起ころうとすると判断し発話した例である。(22a)は掃除機に関する内容で、ゴミがいっぱいになったことを示すランプがよく点灯することから「(掃除機が)壊れそうである」と判断し、述べたものである。この例では、ゴミがいっぱいになっていないのに、ランプがよく点灯することを掃除機の故障の兆しと捉えている。(22b),(22c)は、兆しにあたる内容が文中に現れていないが、茎部分に葉のようなものが出てきたのを見て葉っぱが出ようとしていると判断し、蕾が膨らんできているのを見て花が咲こうとしていると判断したと考えられる。

ある兆しを基に出来事が起ころうとしていると話し手が判断する際の-려고 하다는、次の例でも観察される。

- (23) a.이제 따뜻한 봄이 오려고 하네요. 비도 오고.....

「.....そろそろ暖かい春が訪れようとしています。雨も降って.....」

(<http://cafe.naver.com/bikecargogo/1554268>)

- b. 비가 오려고 하면 온몸의 관절이 옥싯거린다. (물결 21)

「雨が降ろうとすると全身の関節がうずく。」

(23)は自然現象の例である。わたしたちが自然現象について述べる際、ある知識や情報を基に、こうなるだろうと予測することが少なくない。例えば、「夕焼けがきれいなので、明日は晴れる」は、夕焼けがきれいなことを晴れることの兆しとして捉えている。(23a)は雨が降ることを春が来る兆しと捉えることができ、(23b)は、兆しに当たるものが文中に現れていないが、空が暗い雲に覆われることなどが雨の降る兆しとして捉えられるだろう。それらの兆しから、季節や天気が変わりつつあることを-려고 하다는で表している。

これまでの例は、主語となるものが動いたり変化したりする過程を話し手が目の前で知覚したものではなかった。‘종이 울리려고 하다’は、除夜の鐘が鳴る時が近づいていることを表すのであって、主語である「鐘」の動きを表したものではない。‘잎이 나오려고 하다’も葉っぱが出ようとする兆しは捉えているものの、主語である「葉っぱ」が出ているところを観察して述べたものではない。‘봄이 오려고 하다’も、春が来る兆しに基づいた発話であって、「春」が実際に訪れているところを見ているわけではない。次に見る例

は、具体物である主語の動きや変化の過程を話し手が知覚して述べている例である。

- (24) a. 그리고 오늘 주문했던 문구들이 도착했는데..... 에이포용지 자꾸 구겨지려고 해서 받치고 쓰려고 샀고.....

「そして今日注文した文房具が届いたのですが..... A4 用紙が何度も折れようとするので、支えて使おうと買って.....」

(<http://blog.naver.com/bemyfuture/220201828640>)

- b. 먹다 보니 화력이 너무 쎄서 고기가 타려고 하자, 직원분께서 친절하게 불도 줄여 주시고..... (xgxc0667.blog.me/220586432470)

「食べていると、火力が強すぎて肉が焦げようとするやいなやスタッフの方が親切に火も弱めてくださって.....」

(24a)は A4 用紙が折れそうになること、(24b)は肉が焦げそうになることを述べている。話し手は主語である「A4 用紙」や「肉」を直接知覚して述べているわけだが、注目したいのはその動きや変化が既に起こっていると見るべきかどうかである。(24a)の‘에이포용지 구겨지려고 하다’は、A4 用紙が折れる動きが始まった状態を指すのだろうか、それとも折れる直前の状態を指すのだろうか。(24b)の‘고기가 타려고 하다’は、焦げる直前を指すのだろうか、既に焦げ始めている状態を指すのだろうか。これは-려고 하다가、出来事が起こる前の事態のみを表すのか、開始を含むのかという問題と関係する。この点については次節で考察する。

具体物である主語の動きや変化を表す例の中には、その動きや変化が繰り返し行われていることを表す例が見られた。

- (25) a. 예전에 친구가 선물해 주었던 다이어리는 펼쳐지지 않고 자꾸 닫히려고 해서 쓰기 매우 불편했거든요.

「前に友達がプレゼントしてくれたダイアリーは開かずに何度も閉じようとして、使うのにとっても不便だったんです。」

(<http://blog.naver.com/kmbt1221/220538969608>)

- b. 뒷면 스티커 모서리가 자꾸 떨어지려고 해서 테이프로 붙여 놔줍니다. (<http://cafe.naver.com/joonggonara/293160655>)

「裏面のステッカーの端がよくはがれようとしたので、テープでとめておきました。」

この場合もダイアリーが閉じそうになる動きやステッカーの端がはがれそうになる動きを過程として線的に捉え、副詞‘자꾸’によって、その動きが幾度か繰り返されたことが表されている。

-려고 하다는生理現象が起こりそうな場合や話し手の内的状態を表す場合にも使用される。

(26) a. 그리고 앞이 아뜩아뜩해지며 기침이 자꾸 기어 나오려고 하였다. (21 세종)

「そして、前がふらふらし咳がしきりに出ようとした。」

b. 나는 평관이 할아버지가 돌아가셨다는 말에 눈물이 나오려고 했다. (21 세종)

「わたしはピョングァンおじいさんが亡くなったという話に涙が出ようとした。」

c.불쾌감이 좀처럼 나에게서 떠나려고 하지를 않아서.

「.....不快感がなかなかわたしから離れようとしなくて。」 (=16b)

(27) a. 고승우가 상 위에 내던졌던 신문을 집어 그녀에게 밀어 주었다. 그의 손이 떨렸다. 그녀의 손도 떨리려고 했다. (21 세종)

「コスウが机の上に投げつけた新聞紙を拾い、彼女に押しやった。彼の手が震えた。彼女の手も震えようとしていた。」

b. 현우는 아버지의 따뜻한 마음씨가 고마워서 눈물이 나려고 했다. (21 세종)

「ヒョヌは父の温かな心がありがたくて涙が出ようとした。」

c. 정옥은 그 생각을 하면 지금도 오싹 긴장이 되면서 뒤미처 채채기가 나오려고 한다. (21 세종)

「チョンオクはそれを考えると今でもぞくぞくして緊張しながらすぐにくしゃみが出ようとする。」

(26a)は咳が出そうになること, (26b)は涙が出そうになることを-려고 하다는で表したものである。(26a)は何度もそうなることを表す例であり, 生理現象でも繰り返し起こりそうになることが表される。咳や涙が出るといった生理的な現象が起こりそうになることを認識できるのは, 実際に経験している本人のみである。よって, これを表現できるのは話し手のみである。(26c)は比喩的な表現であるが, 不快感が離れようとしないうという内的状態も話し手だけが表現できる。第三者を主体として取れるのは(27)のような小説の地の文だけであって, このような場合を除いては次に示すように聞き手や第三者を主体として取ることはできない。

(28) a. ?야, 너 콧물이 나오려고 해.

「おい, おまえ, 鼻水が出ようとしているよ。」

b. 어뻐어? - ?어, 개 되게 감동 받아서 눈물 나려고 했어.

「どうだった?」「ああ、あいつすごく感動して涙が出ようとしていたよ。」

以上、無情物主語を取る-려고 하다가使用された状況を見てきた。無情物主語を取る-려고 하다には、ある事態の動きや変化が起ころうとすることを表すという共通した意味が見られる。その動きや変化が起こる様子について、今ある事態 X から新しい事態 Y に移る過程を線的に捉える形式であると言える。事態を点的に捉えるのではなく、線的に捉えているため、(21)のように時間を限定すると-려고 하다の使用は不自然になる。

さて、-려고 하다の共通した意味を示したところで、次の2点を考えてみる。一つは、前節で見た無情物主語を取る-려고 하다に疑問文が少ないこと、もう一つは無情物主語を取る-려고 하다の意味として양지현(2013)があげた「話し手の推測」についてである。

まず、疑問文について考えてみよう。実際の例としては(18)に示した2例しか見られなかったが、次のようにある出来事が起ころうとしているかどうかを聞き手に尋ねる状況を想定することは可能である。

(29) a. 거기도 비 오려고 해?

「そっちも雨降ろうとしている?」

b. 얼음 조각이 그렇게 빨리 녹으려고 해요?

「氷の彫刻がそんなに早く溶けようとしているのですか。」

(29a)は、異なる地域にいる相手と通話中に、電話越しに雷の音が聞こえてきた時を想定したものである。雷の音を聞いて、雨が降ろうとしているのかを-려고 하다を用いて尋ねることは可能であろう。(29b)は早く溶けないことを売りにしていた氷の彫刻が、思った以上に早く溶けようとしているという報告を受けて、それが本当なのかを尋ねる状況を想定したものである。いずれも話し手は、ことが起こりそうである兆しを知って、尋ねている。(29)のように、-려고 하다가使用され得る状況は考えられるが、使用例があまり見られなかった理由としてどのようなことがあげられるだろうか。例えば朝鮮語では、兆しを捉えた上で聞き手に情報を求める場合、事態 X から事態 Y へ移る過程には関心が向けられず、事態 Y に至っているかどうかに関心が払われるという可能性がある。つまり「雨が降ろうとしているか」を尋ねるのではなく、「雨が降っているかどうか」を尋ねる。そのため-려고 하다가用いられず、他の形式、例えば直説法疑問形などが使用されることが考えられる。この点についてはより詳細な考察が必要である。

次に、양지현(2013)が主張した「話し手の推測」について考えてみる。양지현(2013)があげた無情物主語を取る-려고 (하다)の例はすべて自然現象であった⁸⁾。自然現象に対する予測はあくまでもある兆候を受けての推測

であるため、「話し手の推測」という説明に合致している。しかし、これまで見てきたように-려고 하다가使用される状況は自然現象だけではない。また、仮に無情物主語を取る-려고 (하다)の意味が「話し手の推測」ならば、推測を表す他の形式と同様に、取り得る用言に制限が見られないはずである(例文 30)。しかし、-려고 하다는属性形容詞，存在詞없다，指定詞と共ににくいことを 3.1.で指摘した。

(30) a. 이 김치는 매울 것 같아.

「このキムチは辛そうだ。」

b. 그 시간에 가면 물건이 다 팔려서 없을 거야.

「その時間に行けばすべて売り切れているだろうよ。」

c. 그건 어려운 책일 거야. / 그건 어려운 책이 아닌 것 같아.

「それは難しい本だろう。 / それは難しい本ではないようだ。」

(31) a. *김치가 매우려고 한다.

b. *방이 조용하려고 한다. (=9)

また，-려고 하다는(32)で見るように一部の推測形式と共起可能である。

(32) a. 비가 살짝씩 오는 게 태풍 오려고 하나 봐요.

「雨が少しずつ降るのは，台風が来ようとしているみたいです。」

(<http://cafe.naver.com/dgmom365/283526>)

b. 살이 빠지려고 하는 것 같아서 다행이에요.

「痩せようとしているみたいですよかったです。」

(<http://cafe.naver.com/talmudkorea/9810>)

推測を表す形式同士が共起しないことに照らすと，(32)のように-려고 하다는と推測形式が共起可能である事実は，-려고 하다는の意味として「話し手の推測」をあげることに疑問を生じさせる。また，自然現象の例でも(33)のように，時間を限定すると-려고 하다는の使用が不自然である。このことも推測を表す他の形式とは異なる特徴である。以上のことから，-려고 하다는の中心的な意味として「話し手の推測」をあげることはできないと言える。

(33) a. 다음 주에는 장마가 {ㄱ. ? 끝나려고 해요 / ㄴ. 끝날 것 같아요.}

「来週には梅雨が{ㄱ. 終わろうとします / ㄴ. 終わるようです。}」

cf. 이제 장마가 끝나려고 해요.

b. 내일쯤 잎이 {ㄱ. ? 나오려고 해 / ㄴ. 나올 거야.}

「明日ぐらいには葉っぱが{ㄱ. 出ようとする / ㄴ. 出るだろう。}」

3.2.2. 無情物主語を取る-려고 하다가表す局面

前節で, ‘에이포용지 구겨지려고 하다’, ‘고기가 타려고 하다’のように, 具体物である主語の動きや変化を話し手が直接知覚している状況で使用される-려고 하다는, 事態が起こる前を表しているのか, 事態が起こり始める開始を含むのかという疑問を残した。本節では開始局面を表すとされる-기 시작하다との比較を通して, その点を検討する。

浜之上(1990)は하고 있다の考察において局面を表す分析的形式の一つとして-려 하다⁹⁾をあげている。

〔 하려 한다 (しようとする)	〔 하기 시작하다 (し始める)	〔 하는 중이다 (しているところだ)

浜之上(1990:10)の上記の示し方から, -기 시작하다で表される前の局面を表す形式として-려 하다가を捉えていることが分かるが, 同研究での-려 하다는意図を表す場合のみが想定されていたと思われる¹⁰⁾。確かに意図を表す-려고 하다가と-기 시작하다는, それぞれが表す局面が明確である。

(34) a. 처음에는 너무 배가 고파서 야식을 먹으려고 했다. 하지만 살
 찌를 것 같아서 결국 안 먹었다.

「はじめはひどくおなかがすいたので夜食を食べようとした。しかし、
太るかと思ひ、結局食べなかった。」

b. 너무 배가 고파서 야식을 먹기 시작했다. 하지만 살찌를 것 같
 아서 결국 {ㄱ. *안 먹었다 / ㄴ. 다는 안 먹었다}.

「ひどくおなかがすいたので夜食を食べ始めた。しかし、太るかと思
ひ、結局{ㄱ. *食べなかった / ㄴ. 全部は食べなかった}。」

意図を表す-려고 하다가は, まだ行為が行われていないことを表すため, (34a)のように意図していた行為をしなかったとすることができる。それに対し, (34b)の-기 시작하다는既に行為が始まっていることを表すため, その行為を途中でやめたとは言えるが, しなかったとは言えない。この比較からも, 意図を表す-려고 하다가は-기 시작하다で表される局面の前の局面を表していることが分かる。では, 無情物主語を取る-려고 하다가も意図を表す-려고 하다가と同じように事態が始まる前の局面を表しているのだろうか。-기 시작하다と比較しながら, それぞれが表す局面の違いを見ていこう。

まず, 抽象的な現象を表す例である。この状況では-려고 하다가が事態が

起こる前を表し, -기 시작하다が開始を表していることが明らかである。

(35)1990 년의 제야의 종이 머지않아 {ㄱ. 울리려고 하고 있네요 /
ㄴ. *울리기 시작하고 있네요}.

「.....1990 年の除夜の鐘がもうすぐ{ㄱ. 鳴ろうとしています / ㄴ.
*鳴り始めています}。」

(36) a.이유가 {ㄱ. 드러나려고 한다 / ㄴ. 드러나기 시작한다}.

「.....理由が{ㄱ. 明らかになろうとしている / ㄴ. 明らかになり始
めている}。」

b.이유가 {ㄱ. ?드러나려고 한다 / ㄴ. 드러나기 시작한다}.

그 드러난 이유가.....

「.....理由が{ㄱ. 明らかになろうとしている / ㄴ. 明らかになり始
めている}。その明らかになった理由が.....」

(35)は‘머지않아’との共起により-기 시작하다が続くと非文となる。(36a)では, -려고 하다, -기 시작하다いずれの形式も使用可能であることが確認できるが, (36b)のように理由が明らかになったことを示す内容が続くと, -려고 하다が不自然になる。このことから, 理由が明らかになる前の事態を-려고 하다が表していることが分かる。

ところで, (36b)の-기 시작하다を使った(ㄴ)は, その後に「その明らかになった理由が」という内容が続くと, 明らかになった理由が一つではなく, 複数であることが想定されるという母語話者の観察が得られた。このような解釈がされることと関連して, -기 시작하다に関する既存の研究を見てみると, 노마(1993)は-기 시작하다には「連続的事象の開始」と「断続的事象の開始」の意味があるとした。前者は, 単一主体が連続的な動作や行為を徐々にし始めるという意味を表し, 後者は主体を単一主体と複数主体に分け, 単一主体が断続的・非連続的な反復行為をし始めるという意味と, 複数主体が一つ, 二つし始めるという意味を表すとしている。また, 村田(2002)は-기 시작하다を, ある事柄の成立にある程度の時間幅, すなわち, 過程性があると話し手が認識している事柄に使われ, そのような過程性を話し手が認識しにくいときには, その事柄の開始局面を-기 시작하다形で取り立てにくいとした。これらの指摘を基に考えると, (36a)の(ㄴ)のように, 理由が明らかになり始めることだけを述べた場合にはその事態に過程性が認められるが, (36b)の(ㄴ)のように, 明らかになった理由に言及しようとする時, その理由を単一主体として見ることができず, 連続性が認めにくくなるために, 理由が複数であると解釈されるということだろうか。

次は, 兆しによって主語に動きや変化が起ころうとすることを表す-려고 하다の例であるが, これも事態の開始前を表していることが明らかである。

- (37) a.잎이 {ㄱ. 나오려고 합니다 / ㄴ. 나오기 시작합니다}.
 「.....葉っぱが{ㄱ. 出ようとしています / ㄴ. 出始めています}。」
 b. 다시 꽃 {ㄱ. 피려고 해요 / ㄴ. 피기 시작해요}.
 「.....また花が{ㄱ. 咲こうとしています / ㄴ. 咲き始めています}。」

- (38) 그 봄에 막 {ㄱ. *피려고 한 / ㄴ. 피기 시작한} 라일락꽃의 짙은 향기가 아직도 코 끝을 간질이는 듯하다. (ㄴ: 물결 21)
 「その春にまさに{ㄱ. *咲こうとした / ㄴ. 咲き始めた}ライラックの花の深い香りが, いまだに鼻の先をくすぐるようだ。」

この例もそれぞれの形式で表される局面がはっきりしており, -려고 하다가가花が咲く前を表し, -기 시작하다가가花が咲き始めていることを表している¹¹⁾。それは, 花が咲いてからでなければ起こらない香りが漂うという内容が後続する(38)では-려고 하다가の使用が非文になることから分かる。次は自然現象の例である。

- (39) a.이제 따뜻한 봄이 {ㄱ. 오려고 하네요 / ㄴ. 오기 시작하네요}.
 「.....そろそろ暖かい春が{ㄱ. 訪れようとしています / ㄴ. 訪れ始めています}。」
 b. 비가 {ㄱ. 오려고 하면 / ㄴ. 오기 시작하면} 온몸의 관절이 옥싯거린다.
 「雨が{ㄱ. 降ろうとすると / ㄴ. 降り始めると}全身の関節がうずく。」

(39a)의 내용은, 實際に春が来たかどうかを確認できないため, その判断は人それぞれ異なる。兆しは見えるが春はまだ来ていないと判断すれば -려고 하다가가使用され, 春が来ていると判断すれば -기 시작하다가가使用される。(39b)의 -려고 하다가を使用した(ㄱ)は, 雨が降る兆しが見えれば, 全身の関節がうずくことを表し, -기 시작하다가を使用した(ㄴ)は, 雨が降り始めると関節が痛むことを表している。よって, -려고 하다가가雨が降るといふ事態が起こる前を, -기 시작하다가가雨が降るといふ事態が起こり始めていることを指している。

前節で疑問を残した具体物の動きや変化を話し手が知覚して述べた例を見ていく。

- (40) a.에이포용지 {ㄱ. 구겨지려고 해서 / ㄴ. 구겨지기 시작해서}.....
 「.....A4用紙が{ㄱ. 折れようとして / ㄴ. 折れ始まって}.....」
 b.화력이 너무 쉼서 고기가 {ㄱ. 타려고 하자 / ㄴ. 타기 시작

하자}.....

「.....火力が強すぎて肉が{ㄱ. 焦げようとするやいなや / ㄴ. 肉が焦げ始めるやいなや}.....」

(41) a.에이포용지 {ㄱ. ?구겨지려고 해서 / ㄴ. 구겨지기 시작해서}.....

그 구겨진 에이포용지를.....

「A4 用紙が{ㄱ. 折れようとして / ㄴ. 折れ始まって}.....。 その折れた A4 用紙を.....」

b. 고기가 {ㄱ. ?타려고 했다 / ㄴ. 타기 시작했다}. 그 탄 고기가.....

「肉が{ㄱ. 焦げようとした / ㄴ. 焦げ始めた}. その焦げた肉が.....」

(40)で見るように、-려고 하다가使用された文に-기 시작하다を使用することは可能であるが、(41)のように「その折れた A4 用紙を」、「その焦げた肉が」を続けると、-려고 하다가の使用が不自然になることから、-려고 하다가が事態の開始前、-기 시작하다が事態が始まっていることを表していると言える。しかし、次のようにそうならうとする事態を阻止する行為が入った場合には違いを見せる。

(42) a.에이포용지 {ㄱ. 구겨지려고 해서 / ㄴ. ?구겨지기 시작해서}

크리어화일에 넣었더니 결국은 안 구겨졌다.

「A4 用紙が{ㄱ. 折れようとして / ㄴ. 折れ始めて} クリアファイルに入れたら, 結局折れなかった。」

b. 고기가 {ㄱ. ?타려고 해서 / ㄴ. ?타기 시작해서} 불을 줄였더니

결국은 안 탔다.

「肉が{ㄱ. 焦げようとしたので / ㄴ. 焦げ始めたので}, 火を弱めたら, 結局焦げなかった。」

(42a)で見るように、「クリアファイルに入れたら, 結局折れなかった」という内容が続いた場合, まだ折れるという動きが始まっていないことを表す -려고 하다가の使用は可能であるが, 既に折れることが始まっていることを表す -기 시작하다を使用すると不自然である。それに対し(42b)の「火を弱めたら, 結局焦げなかった」という内容が続いた場合, -려고 하다가, -기 시작하다のいずれも使用できない。これまで見てきたとおり, -기 시작하다は既に事態が開始していることを表す。そのため, その状態を阻止する行為が入ったとしても, 事態が起こらなかったと言うことはできない。一方, -려고 하다가は事態の開始前を表す。その状態を阻止する行為が入れば, まだ事態は始まっていないため, 事態が起こらなかったという内容が続いても自然になると予想される。しかし, (42b)はいずれも不可能である。これは

타다という動詞に理由があると考えられる。타다는, 타려고 하다と表現している時点で,既に焦げる状態が始まっていると考えられるためであろう¹²⁾。녹다や씩다のような動詞とともに用いられた場合も-려고 하다는開始の局面を含んだ解釈がされる。

(43) a. 날씨가 맑은 덕분에 얼음이 많이 녹으려고 해 잘은 못 놀았지만 그런 대로 즐거웠어요. (<http://cafe.naver.com/thinkinplay/39351>)
「天氣がいいおかげで, 氷がずいぶんと溶けようとして, よくは遊べませんでした, それなりに楽しかったです。」

b. 복숭아는 휴가 다녀오니 씩으려고 해서 급 추가되었어요.

(<http://cafe.naver.com/dgmom365/716136>)

「桃は休暇から戻ってきたら腐ろうとしていたので急いで追加されました。」

新しい事態へ移る過程を線的に表現するのが-려고 하다であると説明したが,動詞によっては,その過程に新しい事態への開始点が含まれると言えるだろう。これまで-려고 하다는,事態が起こる前の局面を表すと位置付けられてきたが,共起する動詞によっては開始を含むものとして捉える必要があると考える。

最後に生理現象の例を見る。

(44) a. 나는 평관이 할아버지가 돌아가셨다는 말에 눈물이 {ㄱ. 나오려고 했다 / ㄴ. 나오기 시작했다}.

「わたしはピョングァンおじいさんが亡くなったという話に涙が {ㄱ. 出ようとした / ㄴ. 出始めた}。」

b. 나는 눈물이 {ㄱ. 나오려고 했는데 / ㄴ. ?나오기 시작했는데} 잡았다.

「わたしは涙が {ㄱ. 出ようとしたが / ㄴ. 出始めたが} 我慢した。」

(44b)のように,後に「我慢した」という内容を続けることができる-려고 하다는涙が出る前の状態を表し,「我慢した」という内容を続けることができない-기 시작하다는,既に涙が出ている状態を表している。生理現象の例でも事態の開始点を含むと考えられる動詞との共起が見られた。

(45) a. 경기의 초반에 우선 점수를 따기 위해 나는 기를 쓰고 페달을 돌려댔고 8킬로미터 정도를 달리다 보니 다리가 굳어지며 쥐가 나려고 했다. (물결 21)

「競技の序盤に優先点を取るため,わたしは全力でペダルを激しく

こぎ, 8キロほど走ったら足が硬くなりしびれようとした。」

- b. 이상한 무력감 같은 것이 밀려오면서 눈이 스크르 감기려고 했다. (21 세종)

「変な無力感のようなものが押し寄せながら目が自然と閉じようとした。」

(45a)의 쥐가 나다는「けいれんが起こる, しびれがくる」という意味を表す分離用言である。쥐가 나려고 하다によって, しびれが起ころうとすることを表しているのだが, しびれが起ころうとすると話し手が自覚する時には, 既にしびれが起こり始めていると捉えられるのではないだろうか。それは, しびれが起こる前の段階を쥐가 날 것 같았다(しびれが起こりそうだった)と表現できることと比較してみると分かるだろう。(45b)의 눈이 감기려고 하다も目が閉じようとするを話し手が自覚する時には, 既に目が閉じることが始まっていると考えられる。

4. おわりに

本研究では無情物主語を取る-려고 하다を取り上げ, 共起制限, 使用される状況, 事態の開始局面を表すとされる-기 시작하다との比較を通して, その特徴を考察してきた。

-려고 하다는動詞や動詞的な意味での있다, 心的状態の変化を表し得る感情形容詞と共起する。また, 否定形を取れる場合と取れない場合の違いを話し手の意図的な行為が事態の変化を引き起こすことができるかどうかに関係していることを指摘した。そして, 疑問文との共起例が少ないことから, 考えられる理由を示した。

取り得る用言の制限や他の推測形式との共起が可能であることから, 無情物主語を取る-려고 하다の中心的な意味が「話し手の推測」を表すとは言い難いことを示し, 無情物主語を取る-려고 하다の意味を「今ある事態から新しい事態に移る過程を線的に表現する」ものとした。さらに-기 시작하다との比較により, 動詞によっては-려고 하다가事態の開始前だけでなく, 開始点を含んだ事態を表す場合があることを指摘した。

疑問文が少ないことの理由を具体的に示すこと, そして「意図・目的」を表すことと「今ある事態から新しい事態に移る過程を線的に表現する」ことがどのようなつながりをもって, 一つの形式として表されるのかを説明する必要がある。また, 副詞との共起関係によって, -려고 하다가表す局面が変わり得るのかについても考察しなければならない。これらは今後の課題である。

本稿の修正にあたり、査読して下さった方から大変貴重なご指摘をいただいた。ここに記して感謝申し上げます。

《註》

- 1) 例文は, 21세기 세종계획 말뭉치, 고려대학교 Trends21 코퍼스(물결 코퍼스), 検索サイト 데이터에서抽出した。세종계획 말뭉치からの例文には(21 세종), 고려대학교 Trends21 코퍼스からの例文には(물결 21), 인터넷 사이트からの例文にはそのサイトの URL を記した。出典のないものは作例である。なお, 不自然さが伴ったとしても-려고 하다に対する日本語訳はすべて「~ようとする」とする。
- 2) 査読者から感情形容詞の例があることをご指摘いただいた。
- 3) 속상하다の品詞について, 표준국어대사전(電子版)では形容詞としており,菅野他(1991)では自動詞としながら,形容詞的にも使用されることを記している。
- 4) 原文に綴りの間違い(아가갔던)が見られたため修正した。
- 5)菅野(1991:1045-1046)では様々な分析的形式を取り上げ,否定形が前接するか後接するかを示している。
- 6) 21세기 세종계획 말뭉치에서抽出した無情物主語を取る-려고 하다の例は 108 例であった。107 例が叙述文であり, 1 例が(18a)の疑問文である。고려대학교 Trends21 코퍼스からの例は, -려고 하나?, 하느냐?, 하니?, 하는가?, 할까?, 해?, 하지?, 해요?, 하죠?, 합니까?で検索し, 116 例の疑問文を抽出した。そのうち 115 例が有情物主語の疑問文であり, (18b)の 1 例のみが無情物主語の例であった。
- 7) 平(2015), 타이라(2015)では, 無情物主語を取る-려고 하다が使用される状況を「人間の関与が認められる現象」, 「抽象的な現象」, 「自然現象」, 「ある作用による状態変化」, 「生理現象」の 5 つに分類した。
- 8) ‘비가 오려고 먹구름이 낀다’, ‘비가 오려고 해요’, ‘꽃이 피려고 하네’の 3 例である。
- 9) 양지현(2013)では, -려고 하다는-려 키고 하다という構成でできており, -려 하다や-려고(요)よりも動詞하다が一回多く使用されているとしている。このような指摘から-려 하다고-려고 하다を同一のものと見ることはできないが, -려 하다고-려고 하다가異なる局面を表しているとは捉え難いので, -려 하다가例にあげた浜之上(1990)を参照した。
- 10) 浜之上(1990)は次のような-려 하다가の例をあげている。
노인이 전에는 하지 않던 일을 하려 하고 있었다.
「老人が以前はしなかったことをしようとしていた。」(浜之上 1990:10)
- 11) 村田(2002:48)は-기 시작하다について「単一主体のときに過程性を認識しにくい次のような動詞も, 特別な設定がない限り, その動作は反復的な事柄として解釈される」として, 넘어지다(ころぶ), 쓰다:모자를 (かぶる:帽子を), 지다:짐을 (背負う:荷物を), 피다:꽃이(咲く:花が), 합격하다(合格する)をあげている。
- 12) 浜之上(1990)は하고 있다가動作の生起~終了の局面において, 既に主体の変化は一部実現されているものとして以下のような例をあげている(浜之上 1990:29).
멀리로는 기차가 가고 있다. 「遠くの方では汽車が行きつつある。」
다음 순간 그녀는 남자의 팔에서 미끄러지면서 아래로 떨어지고 있었다. 거기서 잠이 깬다. 「次の瞬間彼女は男の腕から滑って下に落ちつつあった。そこで目が覚めた。」
動作の生起の局面で主体の変化が実現するという意味からこのような動詞を「生起変化動詞」と名付けている。

【参考文献】

- 菅野裕臣(1991)「文法概説」p.1007-p.1048 菅野裕臣他編『コスモス朝和辞典 第2版』白水社。
菅野裕臣 他(1991)『コスモス朝和辞典 第2版』白水社
平香織(2015)「現代朝鮮語の‘-lyeko (hata)’に関する一考察—日本語の「~ようと(する)」

- との相違を中心に」 p.56-p.61, 『日本言語学会第 150 回大会予稿集』 日本言語学会.
- 浜之上幸(1990) 「現代朝鮮語動詞のアスペクト的クラス」 p.1-p.93, 『朝鮮學報 138 輯』 朝鮮學會.
- 村田寛(2002) 「現代朝鮮語の<-기 시작하다>形について」 p.37-p.55, 『朝鮮語研究 1』 くらしお出版.
- 고영근·구본관(2008) 『우리말 문법론』 집문당.
- 국립국어원(2005) 『외국인을 위한 한국어 문법 2(용법편)』 커뮤니케이션북스.
- 김서형(2012) 『한국어 의도성 표현의 교육』 한국문화사.
- 노마 히데키(1993) 「現代韓國語의 接續形<-다가>에 對하여- aspect・taxis・用言分類-」 p.1-p.62, 『朝鮮學報 149 輯』 朝鮮學會.
- 손세모들(1997) 「연결어미 “-고자”와 “-려고”에 대하여」 p.91-p.110, 『한말연구 3 호』 한말연구회.
- 양지현(2013) 「의도표현에 대하여 “-려 하(다)”, “-려고(요)”, “-려고 하(다)”를 중심으로」 p.51-p.74, 『배달말 52』 배달말학회.
- 타이라 카오리(2015) 「‘-려고 하다’와 ‘~ようとする’에 관한 일고찰」 『언어와 정보 사회 제 26 호』 p.437-p.466, 서강대학교 언어정보연구소.
- 한송화(2007) 「‘-으러’와 ‘-으려고’ 연구」 p.343-p.372, 『어문론총 47 호』 한국문학언어학회.

무정물을 주어로 취하는 ‘-려고 하다’의 특징
-사태 변화의 용법을 중심으로-

타이라 카오리
간다외어대학

본 연구는 무정물을 주어로 취하는 ‘-려고 하다’의 의미와 용법을 밝히는 데 목적이 있다. 다른 문법 형태들과의 공기 제약을 살펴보고, ‘-려고 하다’가 사용되는 상황을 분류하여 그 의미를 고찰하였다. 또한 ‘-기 시작하다’와 비교하여 ‘-려고 하다’가 사태의 어떠한 국면을 나타내는지 살펴보았다.

무정물을 주어로 취하는 ‘-려고 하다’는 동사나 동사적 의미를 나타내는 ‘있다’, 심적 상태의 변화를 나타내는 감정 형용사와 공기함을 확인하였다. 또한 ‘-려고 하다’는 부정형을 취할 수 있는 경우와 취할 수 없는 경우가 있는데 본고에서는 그 차이를 화자의 의도적인 행위가 사태 변화를 일으킬 수 있는지 없는지를 기준으로 살펴보았다. 또 ‘-려고 하다’가 의문문에 잘 나타나지 않는 이유에 대해서도 고찰하였다.

‘-려고 하다’가 쓰인 예문을 통해, ‘-려고 하다’의 의미가 현재의 사태에서 새로운 사태로 이행하는 과정을 선(線)적으로 표현함을 밝혔다. 또한 ‘-기 시작하다’와 비교한 결과, 무정물을 주어로 취하는 ‘-려고 하다’는 사태가 일어나기 전 뿐만 아니라, 동사에 따라서는 사태의 개시(開始)까지 포함하여 나타내는 경우가 있다는 것을 지적하였다.

본고에서는 ‘-려고 하다’가 유정물을 주어로 취할 때 나타나는 의미와 무정물을 주어로 취할 때 나타나는 의미가 어떠한 연관성이 있어 동일한 형식으로 실현되는지에 대해서는 설명하지 못하였다. 또한 공기하는 부사에 따라 ‘-려고 하다’가 나타내는 국면이 달라질 수 있는지에 대해서도 고찰할 필요가 있다. 이는 향후 과제로 삼기로 하겠다.